

# 音更町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

音更町においては、十勝バス株式会社が4路線、北海道拓殖バス株式会社が12路線の路線バスを運行しており、市街地では、町内の主要な公共施設、商業施設、医療機関などを連絡するコミュニティバスを運行している。

一方、農村地域では、こうした移動手段を利用できない公共交通空白地帯が存在していたことから、その解消を図るため、農村地域予約制乗合タクシーを導入したところである。

今後も、地域間幹線系統である路線バスと、それに接続するフィーダー系統であるコミュニティバスや農村地域予約制乗合タクシーを中心にした公共交通ネットワークを維持・確保することで、買物、通院、通学などの日常生活での移動のほか、町外への広域的な移動への支援を進めるとともに、町民ニーズを十分に踏まえながら、公共交通の利便性向上や利用促進につながる取組を着実に進め、地域が一体となって持続可能な公共交通ネットワークへと発展させることで、音更町地域公共交通計画で掲げる将来像「町民の思いをつないだ公共交通ネットワークがつくる 住みよいまち おとふけ」の実現を目指していく。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

### 【音更町地域公共交通計画における目標】

#### 第6章「持続可能な施策推進に向けた目標値の設定」

##### 6-1「評価指標及び目標指標」

「乗合タクシーの延べ利用者数」 令和6年度 900人、令和7年度 950人

「乗合タクシーの利用のしやすさの満足度」 令和6・7年度 100.0%

## 地域公共交通の現況

- ・予約制乗合タクシー（農村部⇔町内市街地）
- ・コミュニティバス（一日3便、2台体制）
- ・スクールバス（12路線）
- ・十勝バス（株）（町内4路線）
- ・拓殖バス（株）（町内12路線）

## 協議会開催状況

### 【令和5年度】

- ・6月21日～6月29日（第1回）事業報告・決算認定、事業計画案・収支予算案、フィーダー計画案の書面協議・承認
- ・9月19日（第2回）フリー降車制度・障がい者運賃割引制度の試験導入、公共交通に関する勉強会実施の協議・承認
- ・1月11日～1月18日（第3回）地域公共交通確保維持事業評価（地域内フィーダー系統）の書面協議・承認
- ・3月26日（第4回）フリー降車制度・障がい者運賃割引制度の本導入、バスの乗り方教室の開催

### 【令和6年度】

- ・6月18日～6月27日（第1回）事業報告、事業計画案・収支予算案、協議会規約の一部改正、フィーダー計画案の書面協議・承認
- ・9月18日（第2回）コミバス教室実施報告、交通計画の進捗状況協議、コミバスのルート見直し協議
- ・12月18日～1月10日（第3回）地域公共交通確保維持事業評価（地域内フィーダー系統）の書面協議・承認

## 令和6年度事業概要

### 予約制乗合タクシーの運行

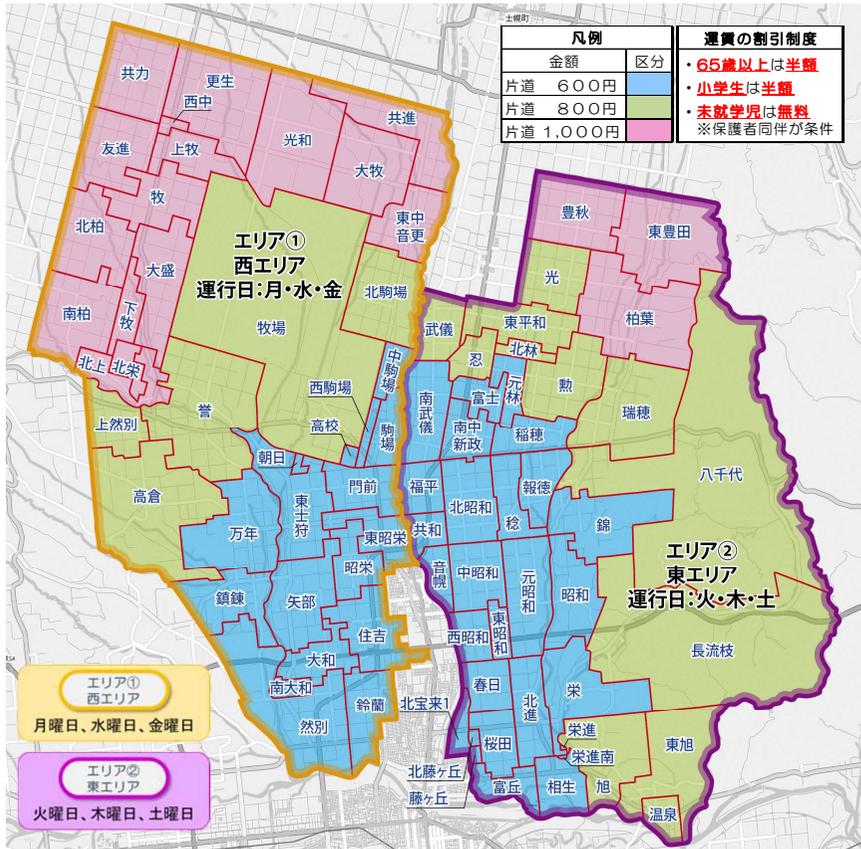
【起点】音更タクシー前 【経由地】音更・木野市街地 【終点】木野農協前 【実運行日数】268日 【実運行便数】689便

# 令和6年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

- ・アンケート調査やパブリックコメントの結果を踏まえて、障がいのある方の利用促進及び外出支援を図るため、令和5年11月1日から「障がい者運賃割引制度」を導入した。
- ・まちづくり懇談会、町政声のポスト、まちづくり町民アンケート、乗合タクシー満足度アンケートなどでの意見の結果を踏まえながら、更なる利便性の向上や利用の促進につなげるよう努めている。
- ・令和6年度は、来年度実施予定のコミバスルート見直しに向けた停留所の設置箇所の変更等に係る協議を通じて、乗合タクシーの乗降場所の追加等に向けた検討を進めた。

## エリアごとの運行日と運賃



## 市街地の停留所 (1:音更市街、2~4:木野市街)

1. 音更タクシー前、エコープ音更前、プロスバ6前、役場前クリニック、音更役場前、サンドーム前、温水プール前、総合福祉センター、保健センター前



2. 十勝動医協柳町医院前、宏明館病院前、共栄コミセン前、文化センター前、図書館前、田中医院前、佐治整形外科、徳洲会病院前、木野西通12丁目



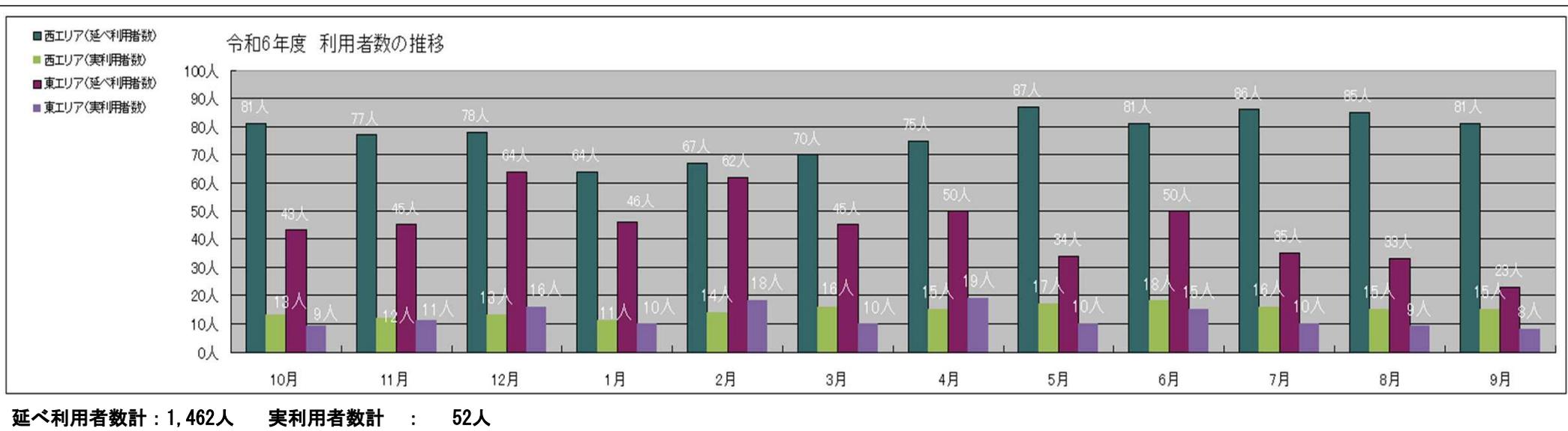
3. 鈴蘭郵便局前、おおや整形外科



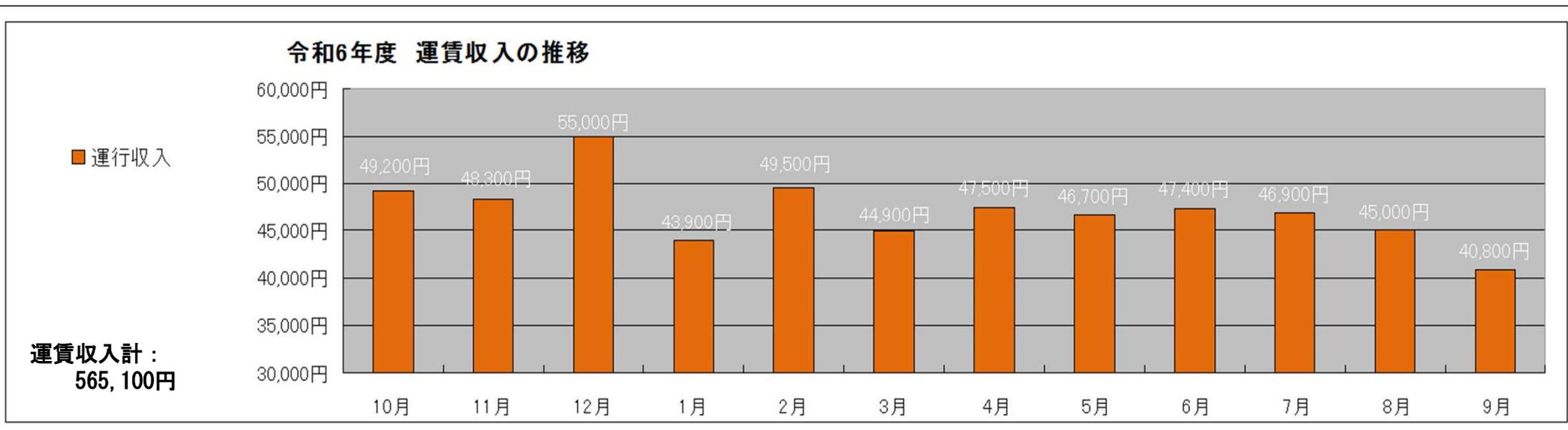
4. 木野コミセン前、木野支所前、木野農協前



### 3) 利用実績



### 4) 収入実績



## 5) 事業実施の適切性

### 【 評価:A 】

計画どおり事業は適切に実施された。

## 7) 事業の今後の改善点

「音更町地域公共交通計画」を着実に推進しながら、運行内容見直しによる利便性の向上や、乗り方教室などのモビリティ・マネジメントによる利用の促進に向けた取組を実施し、利用者の更なる増加につなげることで、持続可能な運行を目指す。

## 6) 目標・効果達成状況

### 【 評価:A 】

「音更町地域公共交通計画」の目標値である延べ利用者数については、令和6年度の目標値900人に対し、令和5年10月～令和6年9月で1,462人と、コロナ禍前の水準以上で推移し、目標値を大きく上回る見込みであることから、目標を達成している。

満足度アンケートについては、普通～満足と回答した人が20人中20人となり、100%を達成した。

## 8) 地方運輸局等における二次評価結果

(令和7年度分と併せて評価)